

2024 年度 事業報告書

2024 年 4 月 1 日から 2025 年 3 月 31 日まで

特定非営利活動法人中村元記念館東洋思想文化研究所

1 事業の成果

2012 年 10 月 10 日の開館以降、2025 年 3 月 31 日時点で延べ 86,316 名が訪れている。2024 年度は、5,861 名にご来館いただき、2023 年度に比較し 112% の増加となった。

松江市からの受託事業である中村博士の蔵書整理事業については、2024 年度は 2,820 点の資料を登録。通算登録数は 33,416 冊となり、順調に作業を完了した。

また、蔵書以外の資料(日記、原稿、メモ、写真、書簡など)については、前半は 10 月開催の特別展示に関する「禅」「白隱禅師」に関する資料を重点的に発掘、調査を行い、これまでにない新たな視点での博士の研究について展示紹介することができた。後半は、今後に予定している企画展示に関する資料を中心に調査を進めた。今後も専門家の指導を仰ぎながら、蔵書以外の資料についても適切な保存・管理につとめていきたい。

年間を通して、東方学院松江校、中村元記念館文化講座あわせて 22 講座を開講し、延べ 129 名が受講。オンライン講座も定着し、県外、遠方住の受講生も増加しつつある。

研究員による活動も、文化カフェを 2 回開催することができた。

中村元東洋思想文化賞も第 9 回を迎える。2024 年も修士論文 2 つに優秀賞、松江市長賞を授与した。

企画展示については、10 月 1 日～12 月 15 日に開催した「臨済中興の祖 白隱禅師展」をメインに 5 つの企画展示を行った。各企画展では、中村元博士の業績についてより理解を深めていただけるよう特別講座や、学芸員によるギャラリートークを実施した。

2024 年度は、特に子ども教育事業にも力を入れた。近隣の八束学園との交流事業として、読み聞かせや施設見学の実施、また、中村元記念館講師による出張講座をおこない、アジアの音楽の鑑賞だけではなく、実際に珍しい楽器に触れる体験を通じ、東洋の文化を学ぶ機会を提供できた。

SNS での発信も充実させ、広報に力を入れた。また、ショップ販売用の専門書籍の充実を図り、文化の普及に努めた。

2 事業の実施に関する事項

事業名	事業内容	実施事業の 日時・場所、 従事者の人数	受益対象者 の範囲 及び、人 数、評価	事業費の 金額 (単位：千円)
故中村元博士の蔵書の管理及び中村元記念館の管理と運営	1. 中村元博士蔵書整理事業 2. 中村元記念館管理・運営		別紙参照	15,694
東洋思想・文化に関する研究、講座、イベント等の実施	1. 中村元記念館各種講座の運営 2. 研究員による研究活動 3. 企画展 4. 中村元東洋思想文化賞 5. 大学連携事業		別紙参照	5,130
東洋思想・文化の普及、啓発のための出版及び広報事業	1. 出版事業 2. 博物館/施設との連携 3. メディア対応 4. その他広報活動 5. ミュージアムショップ運営		別紙参照	494
国際文化交流事業	1. アジア文化紹介事業		別紙参照	25
地域の文化、経済、観光、人づくりを推進するために必要な事業	1. 地域・行政との交流事業 2. 子ども教育事業 3. 旧八束教員住宅(通称)「はじめハウス」の利活用		別紙参照	370

3 会議に関する事項

(1) 理事会

◆第1回 理事会 (開催年月日 2024年5月18日)

開催場所 中村元記念館 講堂

出席者数 13名 (うち表決委任者 6名) ／ 理事人数 13名

議決事項の概要

第1号議案 2023年度 事業報告に関する件

第2号議案 2023年度 決算報告 および 監査報告に関する件

第3号議案 2024年度 事業計画に関する件

第4号議案 2024年度 予算に関する件

第5号議案 役員 (理事) の選任について

第6号議案 役員報酬支給額について

その他 報告事項

(1) 中村元記念館開館審議会について

(2) 中村元記念館 今後の運営について

(2) 総会

◆総会 (開催年月日 2024年 5月 23日)

開催場所 中村元記念館 講堂

出席者数 19名 (うち表決委任者 10名) ／正会員数 20名

議決事項の概要

第1号議案 2023年度 事業報告に関する件

第2号議案 2023年度 決算報告 および 監査報告に関する件

第3号議案 2024年度 事業計画に関する件

第4号議案 2024年度 予算に関する件

第5号議案 役員 (理事) の選任について

第6号議案 役員報酬支給額について

その他 報告事項

(1) 中村元記念館開館審議会について

(2) 中村元記念館 今後の運営について

特定非営利活動法人

中村元記念館東洋思想文化研究所

2024 年度 事業報告書



中村元記念館

Nakamura Hajime
Memorial Hall
नाकामुरा हाजिमे म्यारक मनागृह

内容

▽2024 年度 事業報告	1
I 全体報告	1
(1) 入館者数	1
(2) 寄付の状況	2
II 個別事業報告	3
(1) 故中村元博士の蔵書の管理及び中村元記念館の管理と運営	3
(2) 東洋思想・文化に関わる研究、講座、イベント等の実施	4
(3) 東洋思想・文化の普及、啓発のための出版及び広報事業	8
(4) 国際文化交流事業	11
(5) 地域の文化、経済、観光、人づくりを推進するために必要な事業	11

▽2024 年度 事業報告

I 全体報告

(1) 入館者数

2012 年 10 月 10 日の開館以降、2025 年 3 月 31 日時点では延べ 86,316 名が訪れている。2024 年度は、5,861 名にご来館いただき、2023 年度に比較し 112% の増加となった。

特に 9 月は、松江市役所八束支所による島巡りツアーのコースに中村元記念館を組み込んでいただいたこと、カフェの開催、団体見学などにより、昨年度に比較し 182% の増加につながった。

また、10 月～12 月にかけて特別展示「臨済中興の祖 白隱禪師展」を開催。期間中はオープニングイベント、特別講座、学芸員によるギャラリートークなど関連イベントを数多く行ったことが来館者の増加につながったと思われる。

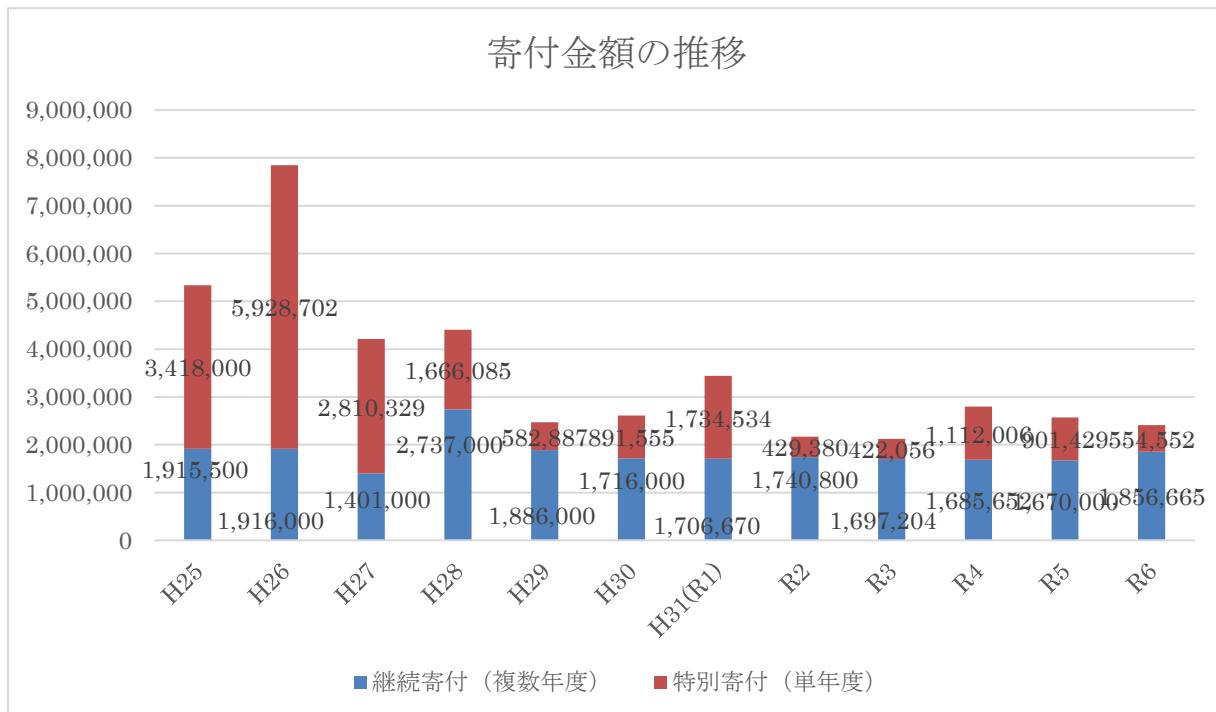
今後も、松江市や、公民館などとの連携、そして魅力あるイベントや企画展示の開催を行うことで来館者の増加につなげていきたい。

月別入館者数

月	2023 年度 入館者数 (人)	2024 年度 入館者数 (人)	対前年比 (%)
4 月	499	658	132%
5 月	472	577	122%
6 月	659	469	71%
7 月	480	407	85%
8 月	346	441	127%
9 月	273	496	182%
10 月	684	995	145%
11 月	545	600	110%
12 月	374	463	124%
1 月	0	0	
2 月	368	294	80%
3 月	552	461	84%
合計	5,252	5,861	112%
月平均	438	488	
累計	80,455	86,316	

（2）寄付の状況

当館は篤志の皆様のご寄付で運営している施設である。一般的な寄付である特別寄付、複数年度に渡る寄付である継続支援寄付の募財状況について報告する。



上記グラフの通り、2024年度の寄付金額は昨年度より 160,212 円減少したものの、2,411,217 円となり、認定 NPO 継続のために 3,000 円以上の寄付者を 100 名以上募るという目標も、ご支援者の皆様のご協力により 5 年連続で達成することができた。

また、認定特定非営利活動法人の認定の更新についても、その有効期間について令和 7 年 4 月 1 日～令和 12 年 3 月 31 日までの有効期間を更新することができた。認定特定非営利活動法人として、寄付者にとってのメリットである税制上の優遇措置が受けられることについてさらに周知していきたい。

博士の蔵書については登録・公開作業が完了し、今後は、蔵書以外の膨大な資料の正確な記録作業のため、さらなる人員の投入が必要となり、今まで以上にご協力をお願いする必要がある。

これまでのたくさんのご支援に感謝申し上げるとともに、今後も皆様のご期待に沿えるよう中村元記念館の運営、活動に勤しみたい。

II 個別事業報告

(1) 故中村元博士の蔵書の管理及び中村元記念館の管理と運営

1. 中村元博士蔵書整理事業(松江市より受託)

事業の目的	松江市から委託された中村元博士の蔵書を整理・公開することで、松江市の歴史的財産として保存するとともに、研究者の利用のみならず、一般の来館者の皆様にも広く観覧していただく。
実施期間	通年
実施人数	職員:5名、ボランティア のべ34名
事業内容	<p>■蔵書整理・登録</p> <ul style="list-style-type: none">・2014年度に導入した図書管理ソフトGANGAとNACSIS接続ソフトMILAGROにより、国立情報学研究所が運営する総合目録データベース(NACSIS-CAT)を利用し、登録を実施。・2024年度は、図書1,716冊、雑誌1,104冊、合計2,820冊の登録を完了した。(通算登録冊数:33,416冊)。 <p>■蔵書の公開</p> <ul style="list-style-type: none">・記念館のOPAC(オンライン蔵書検索システム)登録による公開と、常設展示、企画展等で順次公開。 <p>■資料登録・整理作業</p> <p>昨年度に引き続き、資料の間に紛れていた抜き刷りや新聞記事等を1点1点丁寧に探し出し、資料の破損に気を付けながら登録作業を進めた。</p> <p>インドやネパールで出版された資料、ベンガル語、タミル語、グジャラート語、マラヤーラム語、サンスクリット語、ラークリット語、ネパール語、ネワール語などで書かれた言語を調査しながら登録を進めた。</p> <p>島根県立古代出雲歴史博物館のご協力を得て、激しく劣化した資料を燻蒸し、それらの中から、1957年の中村元の雑誌論文などを確認することができた。上記の作業により、学術系雑誌に連載された論文のうち、未発見のナンバーを複数発見することができ、初出の文章を確定することができた。</p> <p>今年度の特別展示のため「禅」「白隱禪師」に関連する資料を重点的に資料発掘、調査を行い、これまでにない新たな視点で博士の研究について紹介することができた。</p> <p>今後も中村元博士が残された、貴重な資料を丁寧に調査することにより、知の継承に貢献できるよう力を注いでいきたい。</p>

	中村家のご遺族の元には現時点でまだ手元に保管されている資料があり、順次記念館にお送りいただきしており、これについては今後も引き続き登録を進めていく予定。
--	--

2. 中村元記念館管理・運営事業

事業の目的	中村元博士の業績を広く一般の人に顕彰する。 記念館運営を滞りなく行うための事業。
実施期間	通年
実施人数	職員・スタッフ:5名(通年)
事業内容	<p>■団体見学 8回 参加者人数: 106名(学芸員解説) 個人、市内外の社協・仏教会等の団体への館内説明を行った。</p> <p>■研修参加 第4回「ITセキュリティの基礎とDX化のための5ステップ」 2025年1月28日(火) 13:00~15:00 @Zoom 職員1名参加</p> <p>■消防・避難訓練 第1回 9月24日(合同避難訓練)職員 4名参加 第2回 3月11日 消火設備訓練 職員 4名参加</p>

(2) 東洋思想・文化に関わる研究、講座、イベント等の実施

1. 中村元記念館各種講座の運営(東方学院松江校 中村元記念館文化講座)

事業の目的	「東洋思想の世界的権威」である中村元博士の私塾「東方学院」の理念を継承すべく「東方学院松江校」・「中村元記念館文化講座」を開講する
実施期間	2024年4月1日~2025年3月31日
実施人数	職員:5名(通年) 講師:22名

事業内容	<p>■今年度の講義は当初東方学院松江校、中村元記念館文化講座を合わせて22講座を開催した。*のべ受講申込者数:129名 (開催講座数) (講義回数減の講義も含む)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・東方学院松江校 16講座 ・中村元記念館文化講座 6講座 <p>※オンライン・ハイブリッド講座 オンライン講座も定着し、県外で、オンラインで受講される受講生の方が増えつつある。</p>
-------------	---

2. 研究員による研究活動

事業の目的	中村元記念館東洋思想文化研究所研究員:9名。 故中村元博士が開拓された学問の道を探求し、山陰地域の学術・文化的振興に寄与することを目的として、研究活動を行っている。
実施期間	通年
実施人数	研究員 9名
事業内容	<p>■「中村元思想文化カフェ」の実施 研究活動報告の場として、所属研究員による「中村元思想文化カフェ」を実施した。令和6年度は2回開催し、研究員の関心や企画展の内容に沿った講演など、毎回異なるテーマを設定した。実施内容については、以下の通り。</p> <p>◆第19回 令和6年9月22日(日)13:30~15:00 中野 耕太 「青年將軍・慶大升の夢と現実 ～12世紀高麗王朝史における位置づけ～」 *「松江百景」展示解説 photographer ninjin</p> <p>◆第20回 令和6年12月7日(土)13:30~15:30 笠原愛古 「中村元博士の比較思想への視角」 *スタッフによるミニコンサート</p> <p>■研究員による講座実施 4講座 ■研究員による書籍発行 ■研究員による学術誌・定期刊行物執筆</p>

3. 企画展の開催

事業の目的	<ul style="list-style-type: none">・中村元博士とのつながりが深いインドの思想家を紹介する展示の開催。・生前中村元博士とご縁のあった白隱宗大本山松蔭寺のご協力の元、白隱禅師の複製原画と関連資料の展示。・中村元記念館に収蔵する博士の蔵書、資料などの公開を目的とし、展示を行い中村元博士の業績、人となりを広く顕彰する。
実施期間	下記のとおり
実施人数	職員 5 名他
事業内容	<p>①中村元記念館 収蔵品展（第2弾） 『中村元博士の著作ができるまで～未公開自筆原稿から辿る～』 期間：2024年2月6日（火）～6月30日（日）</p> <p>②収蔵品展「中村元博士とインドの思想家たち」 期間：2024年7月9日（火）～8月25日（日）</p> <p>③特別展「松江百景～最果ての白鳥たち～」 期間：2024年8月27日（火）～9月29日（日） 展示にあわせて、第19回中村元思想文化カフェを行い、ギャラリートークをした。（9月22日（土）13:30～15:00）</p> <p>④特別展「臨済宗中興の祖 白隱禅師展」 (同時開催) 中村元記念館収蔵品展「中村元博士の研究にみる白隱禅師」 期間：2024年10月1日（火）～12月15日（日）</p> <p>（白隱禅師展関連イベント） ・オープニングセレモニー、講演会：10/1 ・ギャラリートーク：①11/6（水）14時～ ②11/16（土）14時 ・開催特別講座「真の人間によみがえる道 …白隱禅師の書画を通して」：11/20（水）</p> <p>⑤中村元博士が残した「慈しみの言葉」展 期間：2025年2月12日～4月13日</p>

4. 中村元東洋思想文化賞

事業の目的	連携大学を含む全国の国公立及び私立大学 100 校を対象に、大学生・大学院生の優れた論文を広く顕彰し今後の研究を奨励することを目的とする
実施期間	授賞式 2024 年 10 月 19 日
実施人数	職員 5 名他
事業内容	<p>東洋思想を学ぶ学生による学士論文、修士論文を中村元記念館の会場から、オンラインも同時配信して表彰した。授賞式は松江市 山根幸二副市長ご臨席の元、優秀賞、松江市長賞を授与し、賞状と盾、学術奨励金の他に記念品が贈られた。</p> <p>■優秀賞 山本 茂(やまもと・しげる)氏(佛教大学大学院) <パーリ律>と『サマンタパーサーディカ』にみられる僧団内役職 — セーナーサナカンダカを中心として —</p> <p>■松江市長賞 赤塚 智弥(あかつか・ともや)氏(東京大学大学院) 中世東寺教学における即身成仏思想の形成</p>

5. 大学連携事業

事業の目的	インド哲学や仏教学を学べる大学や、近隣の大学、大学院と連携することで、高等教育の場で、記念館を活用していただくことを目的とする
実施期間	下記の通り
実施人数	職員 スタッフ 5 名ほか、連携大学ほか
事業内容	<p>■武蔵野大学 丸井 浩先生とその科研メンバーによる中村元記念館資料調査と、オンライン報告会の実施。 日程:2025 年 3 月 4 日</p> <p>■東京大学 関係者 8 名 記念館視察 (東京大学蓑輪顕量先生同席) 日程:2024 年 12 月 1 日</p> <p>■連携大学の事業紹介を行った ポスター掲示、パンフレット、チラシの配架など</p>
連携先	大正大学、立正大学、佛教大学、島根大学、島根県立大学、東京大学(インド哲学仏教学研究室)、東洋大学、武蔵野大学、龍谷大学、大谷大学

（3）東洋思想・文化の普及、啓発のための出版及び広報事業

1. 出版事業

事業の目的	中村元博士の業績やその理念を広く顕彰する
実施期間・人数	通年 職員 5名
事業内容	■「慈しみの心」山陰中央新報社 編集協力

2. 博物館/施設との連携

事業の目的	広く全国の方へ東洋思想・哲学を普及するため、哲学者を顕彰する全国の施設と連携し普及活動を推進
実施期間・人数	通年 職員 5名
事業内容	<p>■連携協定を結んでいる「史跡足利学校」ほか、石川県金沢市「鈴木大拙館」、石川県かほく市「石川県西田幾多郎記念哲学館」をはじめ、古代出雲歴史博物館など近隣の博物館や美術館などとはパンフレット・ポスターの掲示など広報についての連携を継続中。</p> <p>■高松市美術館 グループ展「高松コンテンポラリー・アート・アニュアル vol.12 わたしのりんかく」における屋外新作「ただ独り歩め」展示協力 ＊中村元博士が翻訳された「ブッダのことば」(岩波文庫 青 301-1)の「第一 蛇の章」の中の「三、犀の角」のテキストを、当館美術館の外壁にカッティングシートで全文読めるようにするという作品を発表</p>

3. メディア対応

事業の目的	中村元博士、記念館の紹介、博士の業績の顕彰などのため、各種媒体、メディアへの取材対応、記事掲載依頼を行った
実施期間・人数	通年 職員・スタッフ 5名
事業内容	<p>①新聞記事掲載（「慈しみの心」） ・山陰中央新報『第1面 「慈しみの心」毎日掲載</p> <p>②新聞記事掲載 ◆【山陰中央新報】 ・「慈しみの心」除く新聞記事掲載</p>

- ・山陰中央新報 情報 BOX 企画展・イベント情報掲載
- ・こだま欄
- ・りびえーる（山陰中央新報）企画展情報掲載
- ・中村元博士とインド思想家 交流たどる企画展（2024/7/8）
- ・白隱禪師 迫力の墨蹟（2024/10/2）
- ・未永く中村元博士を研究 記念館松江市に遺品寄贈
(収蔵品贈呈式の記事) (2025/3/13)

◆【朝日新聞】

禅僧・白隱慧鶴書画など紹介(中村元記念館) (2024/11/15)

◆【日本海新聞】

中海ぶらり探訪⑯「中村元記念館」世界平和願う思想を発信
(2024/8/31)

③八束公民館だより

【八束のひろば 第31号～33号】

- ・中村元博士が残した『慈しみあふれる言葉』を紹介します
⑯～⑰

④市報松江

◆6月号:中村元記念館国際ヨーガの日記念
「YOGAの休日-慈しみのシタールをそえて-」

◆9月号:第19回中村元思想文化カフェ

◆10月号:特別展「臨済宗中興の祖 白隱禪師展」

◆11月号:中村元記念館特別講座
「真の人間によみがえる道…白隱禪師の書画を通して」

◆12月号:第20回中村元思想文化カフェ

◆2月号:中村元記念館3月特別講座
「釈尊の初めての教えと有力な仏弟子・在家信者の誕生」

⑤テレビ取材

- ・中村元博士の残した慈しみの言葉展…【放映】マーブルテレビ

4. その他広報活動

事業の目的	中村元記念館及び東洋思想に興味を持つていただくため、チラシやパンフレットだけでなく、ホームページやブログ、フェイスブック・X(旧 Twitter)など様々な媒体を通じて情報発信を行った。
実施期間・人数	通年 職員 5 名
事業内容	<ul style="list-style-type: none">・記念館紹介パンフレットの配布(約 300 部)・ご支援のお願いのパンフレット配布(約 1000 部)・ホームページの運営(講座・イベント情報等適宜発信中)・メールマガジンの発行 No172～No193(20 回)・フェイスブックの運営(35 回更新)・HP/ブログの運営(28 回更新)・X(旧 Twitter)配信(69 回)

5. ミュージアムショップ運営

事業の目的	一般書店では手に入りにくい中村元博士の著作、東洋思想、仏教関連書籍など、専門書籍を幅広く取りそろえ、来館者の知へのニーズを満たす。 記念館オリジナルのお土産品提供による、来館者満足度の向上
実施期間・人数	通年 職員 5 名
販売グッズ	<p>中村元博士の著作をはじめ、広く哲学、東洋思想等を取りそろえ、一般の書店では手に入りにくい専門書籍を充実させた。</p> <p>出版社の協力もあり、現在、DVD など映像資料なども併せると 500 種を超える品揃えとなっている。</p> <p>特別展「臨済宗中興の祖 白隱禪師展」の会期中限定として、展示のガイドブックも販売した。</p> <p>記念館講座の講師の著書についても、HP 等で新刊をチェックして取り揃えた。</p>

(4) 国際文化交流事業

1. アジア文化紹介事業

事業の目的	中村元記念館の認知度向上や、新規来館者の獲得を目的とし、広く一般の方を対象に中村元博士が研究されたアジア地域について紹介し、文化的な交流を促進する。インドとの交流を深める。
実施期間・人数	通年 職員 5名
事業内容	■中村元記念館国際ヨーガの日記念 「YOGA の休日-慈しみのシタールをそえて-」 実施日:2024年6月23日

(5) 地域の文化、経済、観光、人づくりを推進するためには必要な事業

1. 地域・行政との交流事業

事業の目的	行政、民間、地元八東町の要望に沿った交流事業を実施し、中村元と記念館を知っていただく契機とする。
実施期間・人数	通年 職員 5名
事業内容	■第12回中村元記念館杯八東町、世代間交流 GG 大会の開催協力 実施日:2024年5月24日 八東町グラウンド・ゴルフ協会主催 ■八東公民館 掲示板 中村元博士が遺した「慈しみあふれる言葉」紹介事業への協力 ＊令和2年の開始からの作品59点を、その出典である資料(著作・作文・原稿など)とともに企画展として公開。 ■公民館だよりへの取材・執筆協力 ■島根半島。宍道湖中海(国引き)ジオパーク推進校議会 ジオカード配布協力 ■八東学園親子の生命学習+謎解きの島巡り 主催:松江市役所八東支所 実施日:2024年5月19日

	<p>■松江市役所八束支所 生命学習体験 in 大根島 島巡り 定番コースへの協力</p>
連携先	松江市役所八束氏支所・八束公民館、松江北商工会、八束町内の自治会・松江観光協会など

2. 子ども教育事業

事業の目的	中村博士の業績を知ることで、郷土への誇りを持っていただく。博士の思想「慈しみ」の心にふれてももらうことで、小中学生の情操教育に役立てる。また、高校生・大学生にも自習室を解放し利用してもらう。
実施期間・人数	通年 職員 5名
事業内容	<p>■ 中学生職場体験（八束学園 9年生:2名） 実施日:2024年 9月 25 日、9月 26 日、9月 27 日</p> <p>■ 自習室の開放 記念館の静かな環境で、勉強や読書を行ってもらえるよう、小・中・高・大学生に自習室を開放した。 図書閲覧室での自習利用多数</p> <p>■ さるすべりコーナーでの文化紹介本の設置</p> <p>■ 八束学園へ出張講座など</p> <p>(1) 中村元博士についてのお話と読み聞かせ 実施日:2024年 11月 27 日 博士と記念館についての説明と、博士が研究したインドのことを知ることができる児童書の読み聞かせを、記念館の学芸員が行った。</p> <p>(2) 中村元記念館出張講座 「アジアの音楽に親しもう みんなで楽しく楽器遊び」 実施日:2025年 2月 3 日 協力:中村元記念館文化講座講師 濑古 康雄先生 民族楽器（インドのシタール、中国の揚琴ヤンチン他）を鑑賞し、実際に鳴らしてアジアの音楽、文化に親しめる授業を行った。 令和4年から行われており、定着した事業となっている。</p> <p>■中村元記念館見学 八束学園 6年生、8年生 : 2024年 11月 27 日 松江第一中学校 1年生 : 2024年 9月 13 日</p>

4. 旧八束教員住宅(通称「はじめハウス」)の利活用

事業の目的	中村元記念館および利用者の行う会議、研究、宿泊、イベントなどで活用することことで、周辺地域の活性化を促進する。
実施期間・人数	通年 職員 5名
事業内容	■職員研修・蔵書整理のための作業場所・資料の一時保管場所として活用した。 令和6年度をもってはじめハウスの利用は廃止されたため、一時保管していた資料は撤収した。